NO.

026

社会 フェイクニュースと情報リテラシー

Before You Click "Share"

「シェア」を押す前に

英文の音声

レベル ★★☆ やや難 | 299語 | 熟語12個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 A dramatic photo appears on your screen: a shark swimming down a flooded highway. ❶**According to** the caption, it was taken an hour ago. Yet anyone who ❷**looked into** the image would discover that it has been circulating for years, reappearing with new captions after one storm after another. Pictures like this show how easily we ❸**mistake entertainment for** news.

2 Why does false information travel so fast? One reason is emotional: stories that shock or anger us are exactly the ones we want to pass along. Another is speed. When we ❹**look over** a headline for two seconds, we rarely ask who wrote it or why. A large study of Twitter published in Science in 2018 found that false stories spread further and faster than true ones.

3 Professionals are not immune. A news organization that reports a rumor as fact can find itself ❺**in hot water** and may have to ❻**apologize to its readers for** the error. Ordinary users rarely correct their posts. Worse, many people ❼**turn a deaf ear to** corrections that conflict with what they already believe.

4 What can we do? First, we can ❽**refrain from** sharing anything until it has been checked. Second, we can check claims ❾**for ourselves**: find the original source, see whether other reliable outlets report the same thing, and notice when an article appeals more to feeling than to evidence. Such habits take only a minute, yet they help us ❿**take in** what a story says rather than how it makes us feel.

5 No one can ⓫**be completely sure of** everything they read. Information literacy does not mean distrusting everything. It means ⓬**arriving at** conclusions slowly, after weighing the evidence. In an age when anyone can publish anything, that patience may be one of the most valuable skills a citizen can have.

語注 **caption** （写真の）説明文 **circulate** 出回る・流通する **immune** 影響を受けない・免れている **outlet** 報道機関・媒体 **literacy** 読み書きの能力・活用する力

この英文の熟語 IDIOMS 12個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 according to ~ ～によれば □□□

情報の出どころを示す。according to me とは言わない（自分の意見は in my opinion）

例 *According to the weather report, it will snow tonight.* 天気予報によれば、今夜は雪が降る。

2 look into ~ ～を調べる □□□

into＝中へ。中をのぞき込む→詳しく調べる。investigate / examine の言い換えが頻出

例 *The police are looking into the cause of the fire.* 警察はその火事の原因を調べている。

3 mistake A for B A を B と間違える □□□

for は「～として」。take A for B も同じ意味。A と B の順番に注意

例 *I mistook him for his twin brother.* 私は彼を双子の兄と間違えた。

4 look over ~ ～にざっと目を通す □□□

over＝上をさっと。look into（詳しく調べる）との違いが出る

例 *Could you look over my report before I hand it in?* 提出する前に私のレポートにざっと目を通してくれますか。

5 in hot water 困った立場で □□□

熱湯の中にいる→厄介な状況。get into hot water（困ったことになる）の形も多い

例 *The minister got into hot water over his careless remark.* その大臣は不用意な発言で窮地に立たされた。

6 apologize to A for B A に B のことで謝る □□□

人の前は to、理由の前は for。apologize me のように to を落とす誤りが頻出

例 *She apologized to her teacher for being late.* 彼女は遅刻したことを先生に謝った。

7 turn a deaf ear to ~ ～に耳を貸さない □□□

聞こえない耳を向ける→聞こうとしない。ignore と同じ。B ランクの補充熟語

例 *He turned a deaf ear to his doctor's advice.* 彼は医者の忠告に耳を貸さなかった。

8 refrain from ~ ～を控える □□□

from の後は名詞か動名詞。掲示の Please refrain from smoking.（おたばこはご遠慮ください）が定番

例 *Please refrain from using your phone during the concert.* 演奏中は電話の使用をお控えください。

9 for oneself 自分で □□□

自分のために・自分の力で。by oneself（一人で）との区別が問われる

例 *You should see the painting for yourself.* その絵は自分の目で見るべきだ。

10 take in ~ ～を理解する □□□

頭の中に取り込む→理解する。ほかに「だます」「（服を）詰める」の意味もある

例 *There was too much information to take in at once.* 一度に理解するには情報が多すぎた。

11 be sure of ~ ～を確信している □□□

主語が確信している。be sure to do（きっと～する＝話し手の確信）と区別

例 *I am sure of his honesty.* 私は彼が正直だと確信している。

12 arrive at ~ （結論など）に達する □□□

場所だけでなく結論・合意にも使う。reach / come to と言い換え可

例 *After a long discussion, we arrived at a decision.* 長い話し合いの末、私たちは結論に達した。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第1段落のサメの写真について、本文の内容と一致するものはどれか。

① 1時間前に撮影された本物の写真だった。
② 何年も前から、嵐のたびに説明を変えて出回っていた。
③ 報道機関が最初に発表したものだった。
④ 共有した人はほとんどいなかった。

問2 偽の情報が速く広まる理由として、本文で挙げられていないものはどれか。

① SNS の運営会社が偽の情報を意図的に広めていること
② 見出しを短時間しか見ないこと
③ 驚きや怒りを感じる話を人に伝えたくなること
④ 書き手や目的を考えずに読んでしまうこと

問3 筆者の考える「情報リテラシー」に最も近いものはどれか。

① Trusting nothing that appears on social media.
② Reading as many news stories as possible every day.
③ Reaching conclusions slowly after weighing the evidence.
④ Relying only on professional journalists.

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 〜によれば
2 〜を調べる
3 A を B と間違える
4 〜にざっと目を通す
5 困った立場で
6 A に B のことで謝る
7 〜に耳を貸さない
8 〜を控える
9 自分で
10 〜を理解する
11 〜を確信している
12 （結論など）に達する

背景知識 フェイクニュースとは、事実でない情報をニュースのように見せたもの。SNS では「いいね」や共有の数が多い投稿ほど表示されやすく、驚きや怒りを呼ぶ投稿が広がりやすい。2018 年に『サイエンス』誌に載った研究は、ツイッター上で偽の情報が真実よりも速く広く拡散したと報告した。入試では「情報源を確かめる」「感情より証拠」「自分が信じたいものを信じる傾向（確証バイアス）」がよく問われる。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 画面に衝撃的な写真が現れる。冠水した高速道路をサメが泳いでいるのだ。説明文**によれば**1時間前に撮られたものだという。しかし、その画像を**調べて**みた人なら誰でも、それが何年も前から出回っていて、嵐が来るたびに新しい説明を付けて再び現れていることに気づくだろう。このような写真は、私たちがいかに簡単に**娯楽をニュースと間違える**かを示している。

2 なぜ偽の情報はこれほど速く広まるのだろうか。理由の一つは感情である。驚かせたり怒らせたりする話こそ、人に伝えたくなる話なのだ。もう一つは速さだ。見出しに2秒**ざっと目を通す**だけのとき、私たちは誰がなぜそれを書いたのかをめったに考えない。2018年に『サイエンス』誌に掲載されたツイッターの大規模な研究では、偽の話は本当の話より遠くまで、速く広がることが分かった。

3 専門家も例外ではない。うわさを事実として報じた報道機関は**困った立場に**立たされ、**読者にその誤りを謝罪**しなければならなくなることもある。一般の利用者が自分の投稿を訂正することはめったにない。さらに悪いことに、多くの人は自分が既に信じていることと食い違う訂正に**耳を貸さない**のである。

4 私たちに何ができるだろうか。第一に、確認が済むまでは何であれ共有するの**を控える**ことができる。第二に、主張を**自分で**確かめることができる。元の情報源を探し、ほかの信頼できる報道機関も同じことを伝えているかを確かめ、記事が証拠よりも感情に訴えていないかに気をつけるのだ。こうした習慣はほんの1分しかかからないが、記事がどんな気持ちにさせるかではなく、何を言っているのかを**理解する**助けになる。

5 読んだものすべて**を完全に確信できる**人などいない。情報リテラシーとは、すべてを疑うことではない。証拠をよく比べたうえで、ゆっくりと結論**に達する**ことなのである。誰もが何でも発信できる時代には、そうした辛抱強さこそ、市民が持ちうる最も価値ある技能の一つなのかもしれない。

要旨 偽の情報は感情と速さのせいで広まりやすい。共有を控えて自分で確かめ、証拠に基づいてゆっくり結論を出す姿勢が、情報があふれる時代の市民に必要な力である。

解答・解説 ANSWERS

問1 2 **問2 1** **問3 3**

問1 正解 2 根拠は第1段落の it has been circulating for years, reappearing with new captions after one storm after another（何年も出回り、嵐のたびに新しい説明を付けて再び現れている）。よって 2 が正解。1 は説明文が主張しているだけで、実際は古い画像なので誤り。3 の報道機関が発表したという記述はない。4 は写真がすぐに広まる場面として描かれており、本文の流れに反する。

問2 正解 1 第2段落は理由を二つ挙げる。One reason is emotional（驚きや怒りを呼ぶ話を伝えたくなる）＝3、Another is speed（見出しを2秒見るだけで who wrote it or why を問わない）＝2と4。運営会社が意図的に広めるという話はどこにもないので、「挙げられていないもの」は 1。「本文にない」ものを選ぶ問題では、各選択肢を段落の具体的な言葉と一つずつ照らし合わせるのがコツ。

問3 正解 3 根拠は第5段落の It means arriving at conclusions slowly, after weighing the evidence（証拠を比べたうえでゆっくり結論に達すること）。arrive at を reach に言い換えた 3 が正解。1 は直前の does not mean distrusting everything（すべてを疑うことではない）に反する。2 の「たくさん読む」は述べていない。4 は第3段落で専門家も誤ると述べているので不適。